



# MATSUE DREAMS 2030

2030年の松江のあるべき姿



# MATSUE DREAMS 2030

---

基本構想

# 8年前、あなたは どこで、なにをしていましたか。

今から8年前。

あなたは何歳でしたか？

どこで、なにをしていましたか？

叶えたい夢はありましたか？

松江のまちは、あなたにとってどんな場所でしたか？

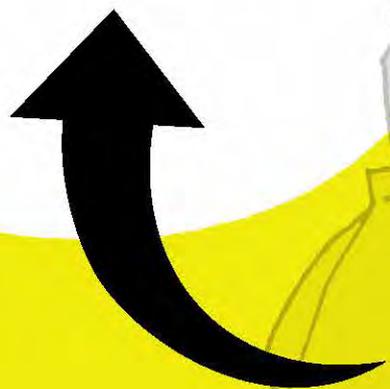
今のあなたは、8年前に描いた未来を生きていますか？



**8年前**



**現在**





**8年後、2030年の  
自分を想像してみよう。**

# 未来の「松江のあるべき姿」

約2,000人の方々にお話を聞きました。

2030年、「松江のあるべき姿」を考えるため、  
ミライソウゾウ会議、タウンミーティング、ゆめアンケートを通じて、  
約2,000人の方々に「未来の松江の姿」についてお聞きしました。

「チャレンジ」「つながり」「夢を実現できる」「多様性」「幸せ」「楽しい」などなど。  
そこには“十人十色の未来”と、  
松江市民として大切にしたい価値観が表されていました。

私たちは、  
未来へ向かって、自分自身のありたい姿を描き、  
その実現に向けて力強く歩みを進めていきます。

# をみんなで考えました。

夢が実現  
できること！



やっぱり  
楽しいんだよ



しあわせが一番かなあ…



チャレンジしやすい  
環境が大切です。



つながりが  
あるまち



多様性が  
認められるべき



# 松江にしかない強み

## 私たちの「あたりまえ」のなかにあるもの

宍道湖、中海、日本海、堀川など豊かな水辺をもつ「水の都・松江」。  
中核都市として便利な暮らしがある一方、自然に恵まれた美しい景観、  
古来からの祭りや伝統行事が脈々と受け継がれ、  
人と人が支えあう温かいコミュニティが息づいています。  
私たちの「あたりまえ」には、国内のみならず  
世界の人々をひきつける魅力にあふれています。

世界有数

### プログラミング言語「Ruby」

世界で使われるプログラミング言語「Ruby」  
の開発者が暮らす松江は、「Rubyの聖地」  
と言われ、国内外からIT技術者たちが集ま  
ってきます。

Ruby City  
MATSUE



日本一

### 宍道湖のシジミ

宍道湖産シジミは漁獲量日本一を誇  
り、全国の漁獲量の4割以上を占めて  
います。



絶景

### 宍道湖の夕日

雲が湧き、日暮れとともに刻々と表情を変  
える宍道湖の夕景は、市民のほか多くの芸  
術家にも愛されています。

世界

「佐陀神能」(ユネスコ無形文化遺産)、  
神在月に「神在祭」が行われる

佐太神社



日本海

松江  
しんじ湖温泉



緑ヶ島

宍道湖

来待石



美肌の湯として知られる  
玉造温泉



節分祭  
豆まき神事

さんかさい  
霞火祭



古代には出雲国で最も社格が高い神社  
熊野大社

世界

## 松江から世界へ

国内外で活躍するプロスポーツ選手、感動をもたらすアーティスト、笑いと元気を届けるエンターテイメント。ここ松江から、世界の人々を魅了する逸材が生まれ、育っています。



国宝

## 松江城天守

明治維新後、解体の危機に瀕していた「松江城天守」。地元有志の努力により買い戻され、市民の力でその雄姿が今に伝えられ、2015年に国宝に指定されました。

名勝・天然記念物

佐太大神の出生地といわれる加賀の瀬戸



大山隠岐国立公園



えびす様の総本宮  
奠保神社

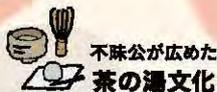


国宝  
松江城天守

瀬日山

枕木山

堀川



不昧公が広めた  
茶の湯文化

●島根県庁  
●松江市役所

日本一



牡丹の生産量日本一  
大根島

中海

唯一

いずものくにふどき  
出雲国風土記

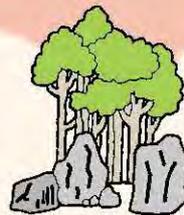
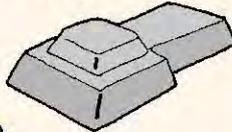


『出雲国風土記』は、733年に完成。ほぼ完本の形で今日に伝わる全国で唯一の「風土記」です。同時期(712年)に完成した日本最古の歴史書「古事記」でも、この地が多く取り上げられています。

大橋川

元祖

日本で初めて  
「前方後方墳」とされた  
山代二子塚古墳



「黄泉の国」への入り口があるとされる  
よもつひらさか  
黄泉比良坂

唯一

かみゆりつき  
神在月

旧暦の10月は「神無月」と言われますが、私たちの暮らす地域では「神在月」と呼びます。

これは、全国の八百万の神々が出雲の国に集まって来られるという伝承に基づくものです。



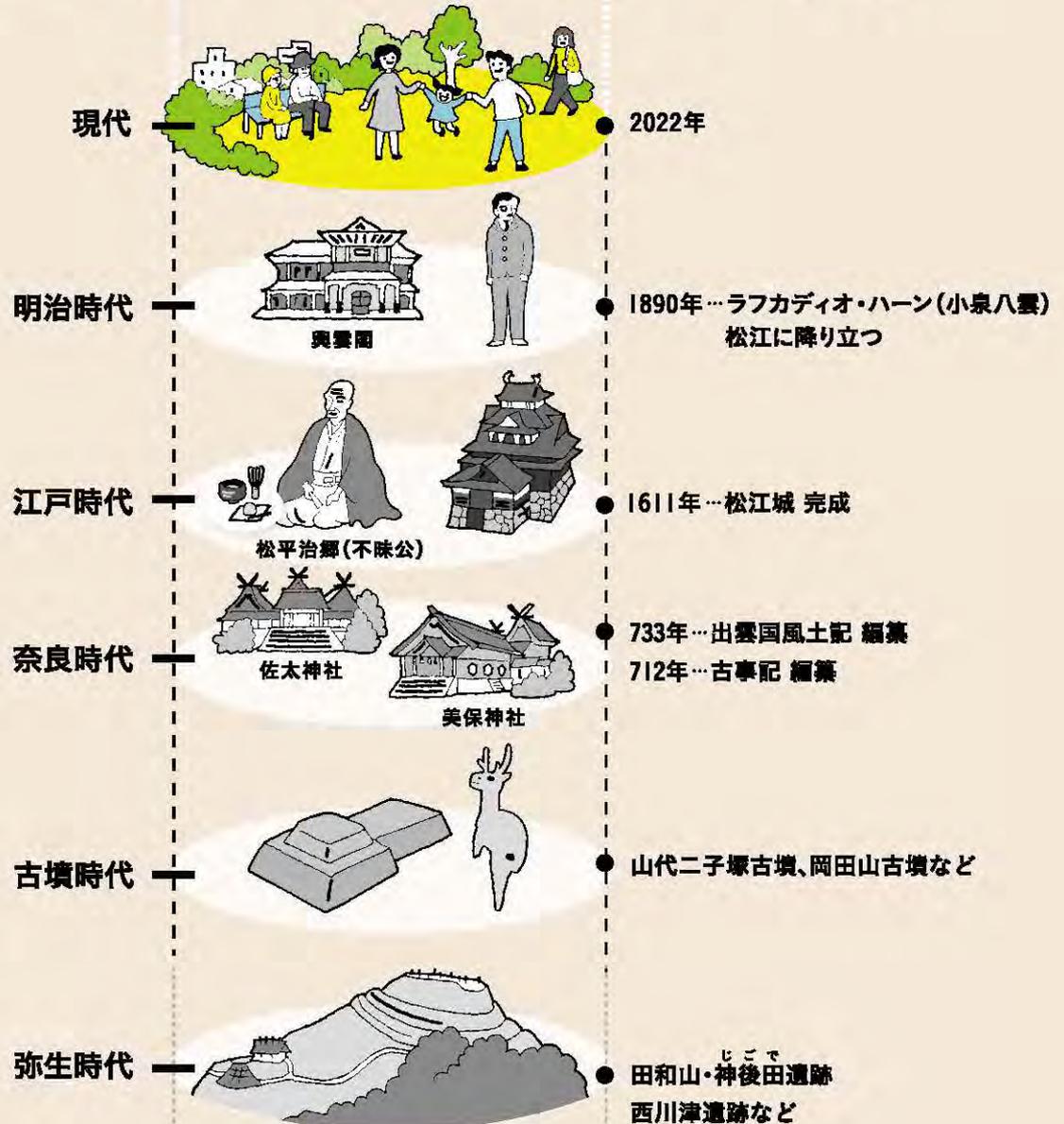
日本最古の大社造  
かみす  
神魂神社本殿

国宝

星上山

強みを活かし、あるべき姿に向かう | 基本理念 |

# 松江のジダイをつくる



# 新しい《時代》を築く先駆者となり、 古からのバトンを《次代》につなごう

いにしえ

この地は太古以来、多くの人々が住み続け、栄えてきました。

江戸時代には、堀尾吉晴が城と城下町を築き、「松江」という名前がつけました。

松江藩松平家七代目藩主 松平治郷(不昧公)は

藩政改革に取り組みながら、「茶の湯文化」を極め、

後世に裾野の広い伝統文化を残しています。

明治時代、松江の魅力を世界に発信したラフカディオ・ハーンが表現した

「オープン・マインド」は、広く異文化を受け入れる大切さを伝えています。

松江には、人と自然と歴史がつながる暮らしがあります。

地域資源を生かし、新しい文化を生み出す、柔軟な発想と風土があります。

そして今、デジタル化が進み、

世界中のだれもとつながり、発信できる時代になりました。

私たちの可能性は広がっています。

松江には、たとえ失敗しても受け入れてくれる人の温かさがあります。

## 松江のジダイをつくる

市民も、NPOも、企業も、行政も手を携えて、新しい《時代》を築く先駆者となり、

先人から受け取ったバトンを、しっかりと《次代》につないでいきます。

松江のあるべき姿 | 将来像 |

# 夢を実現できるまち 誇れるまち 松江

Realize our dreams, be proud of Matsue

「夢」は特別なだれかのものではありません。  
新しい自分に出会う瞬間は、みんなに訪れます。

私たちが考える「夢を実現できるまち」とは、  
あらゆる立場の人が、少しの勇気と好奇心をもって  
「新しい未来」に踏み出せる場所であり、  
それをたたえ、受け入れる社会です。  
そうした文化が根付くとき、確かな「誇り」が芽生えます。

松江が「夢」と「誇り」にあふれ、  
暮らす人々がしあわせを感じるとき、  
松江はこの国の、そして世界の「希望」になります。

①しごとづくり「職人商店街の様子」 ②Dとづくり「子どもたちが夢を楽しむ様子」  
③つながりづくり「スポーツを楽しむ人々の様子」 ④どだいづくり「水辺に楽しみ、にぎ  
わう様子」 ⑤なかまづくり「圏域の交通ネットワークが充実する様子」





**MATSUE  
DREAMS  
2030**  
MATSUE SHIYUO SHIYUO SHIYUO

# 将来像を実現し、新たな松江のジダイをつくる 5つの柱

私たちは、松江のあるべき姿＝将来像を実現するために、  
松江の強みを活かす5つの柱(基本目標)を掲げ、松江のジダイを創造します。

## I.しごとづくり

### 〈2030年にめざす姿〉

松江発のユニークな事業や産業が誕生し、起業・創業に挑戦する若者が集い、いざいざと活躍しています。

まちなかに個性的・魅力的な商店が集まり、市民や観光客がまち歩きを楽しんでいます。

四季折々の新鮮な農産品や魚貝が食卓を彩り、市民の豊かな暮らしを支えています。

「国際文化観光都市・松江」の魅力が世界の人に伝わって、松江ファンの輪が広がり、リピーターでにぎわっています。



## II.ひとづくり

### 〈2030年にめざす姿〉

子育て・教育環境が整い、だれもが「松江で育ってよかった」「松江で育ててよかった」と感じています。

子どもたちが将来の夢や希望を描き、「生きる力」を身に付けています。

個性が尊重され、だれもが思う存分活躍できるとともに、多様なコミュニティが形成され、市民活動や地域のつながりが大切にされています。



### III.つながりづくり

#### 〈2030年にめざす姿〉

多様な価値観や関わり方を尊重しあい、地域づくりや地域の経済活動を支える人たちのサイクルができています。

松江の魅力・強みが注目されて、企業の拠点・Uターン者を多く受け入れています。

松江の歴史・伝統・文化・芸術に親しめる環境が身近にあり、地域資源に囲まれた暮らしを市民が楽しんでいます。

スポーツを通じて健康な心と身体をつくり、明るい希望の持てる社会が築かれています。

### IV.どだいづくり

#### 〈2030年にめざす姿〉

市民の健康を支える医療・福祉が充実しています。

地球環境に配慮した「松江発」の取組により、世界に誇る「SDGs未来都市」が誕生しています。

まちや水辺に人々が集い、利用しやすい公共交通が確保され、社会資本の整備と地域防災力の強化によって、まちの安心・安全が保たれています。

市役所の手続きがとても便利になり、市民のための市政が進められています。

### V.なかまづくり

#### 〈2030年にめざす姿〉

宍道湖・中海に抱かれた5つの市がそれぞれの強みを持ち寄り、一つの経済圏として連携を図ることで、新しい価値が生まれています。

活力ある経済基盤を築くとともに、脱炭素社会の形成に向けた環境対策、高速交通網の整備など、圏域の共通課題を5市が一体となって解決しています。



# 豊かなジダイをつくるために

## 2060年に 人口18万人を めざします。

国勢調査によると、松江市の人口は、2000（平成12）年の211,564人をピークに減少を続けています。このまま松江に暮らす人が減り続けるとどうなるでしょうか。

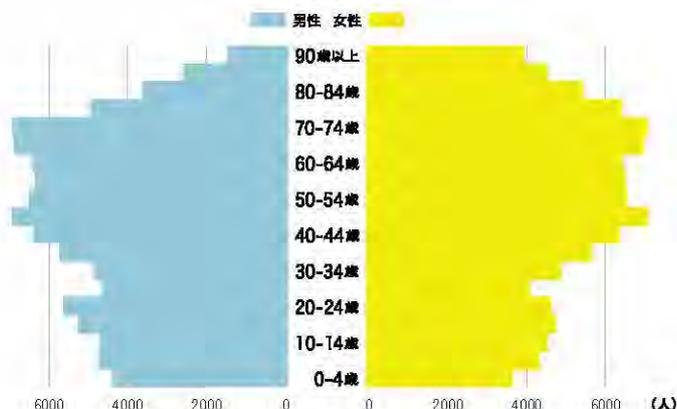
環境負荷の低減などのメリットもありますが、産業や地域活動の担い手不足、学校・病院・商店の減少、これらに伴う税収の減少など、マイナス効果が懸念されます。

将来にわたって安定した市民生活を維持するため、若い世代の人口増と出生数の回復を図り、バランスが取れた年齢構成への移行をめざします。

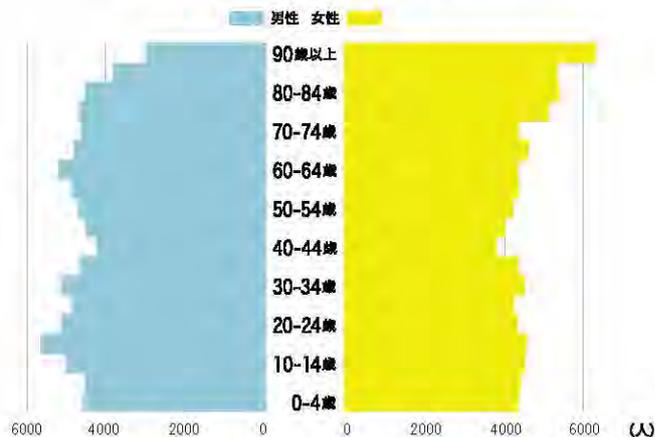
持続可能な年齢構成の実現にむけて、2060年の目標人口を18万人とします。

本総合計画がターゲットとする2030年の目標（人口ビジョン）は、右ページのとおりです。

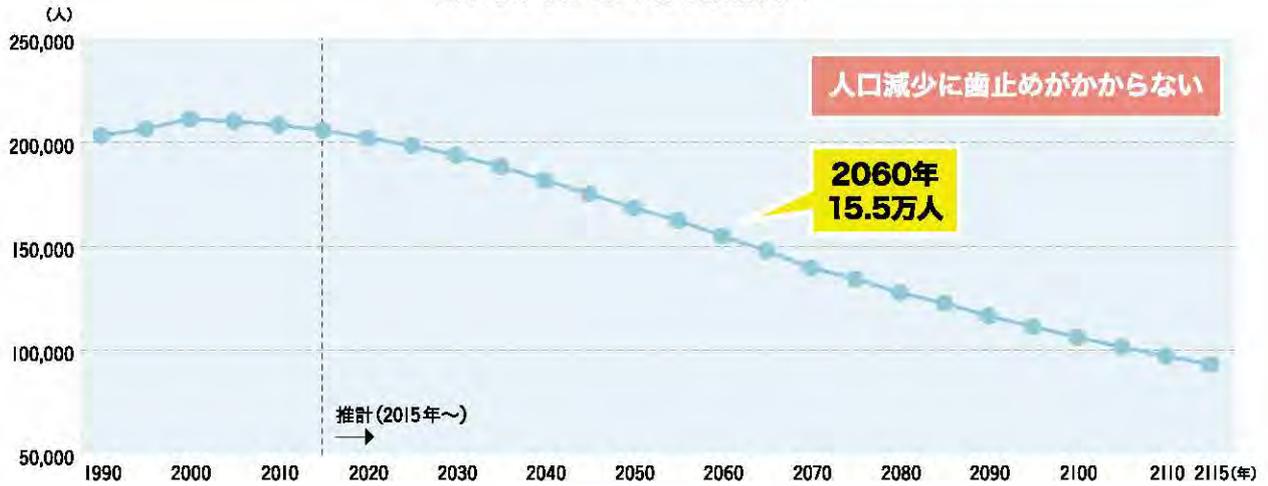
2020年松江市の人口



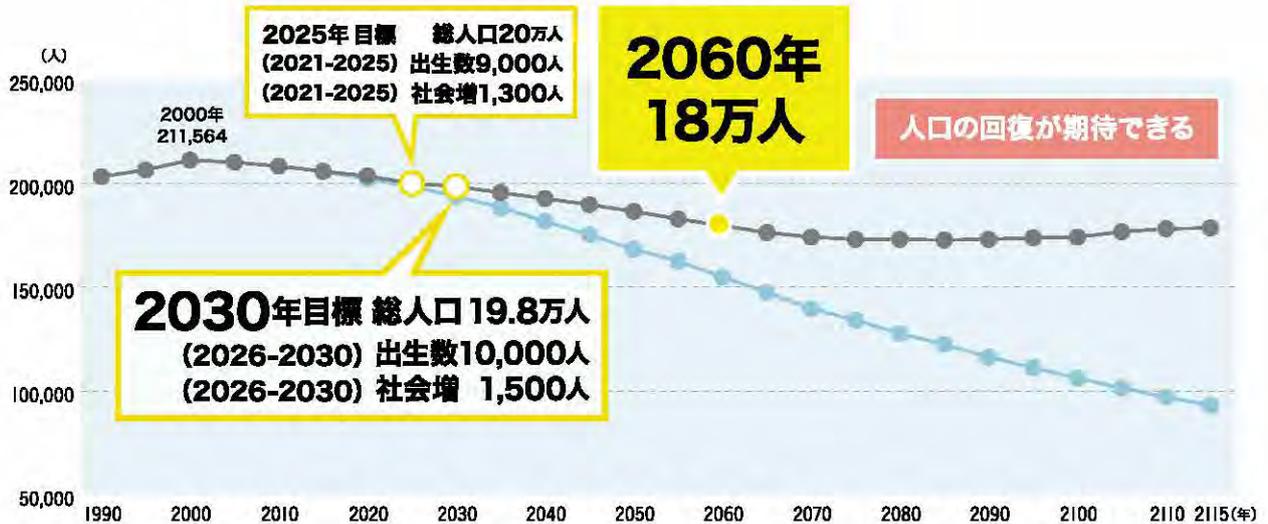
《2060年松江市の目標》



### 国が示す松江市の将来推計人口



### 《松江市人口ビジョン》



今後は、5年おきに目標となる数値を設定し、検証を行っていきます。検証の詳細については、別冊を参照してください。

# 将来のまちのかたち

## 新たな時代に対応したまちづくり

松江市の将来像「夢を実現できるまち 誇れるまち 松江」をつくるためには、どのような「まちのかたち（都市構造）」が相応しいのでしょうか。

本市では、高度経済成長期の1968（昭和43）年に「都市計画法」が制定されたことを受けて、1970（昭和45）年に市域の一部に市街化を図る区域と、新たな建物などの開発を制限する区域に区分した土地利用制度（いわゆる線引き制度）を定め、自然環境と調和したコンパクトでまとまりのある市街地を形成してきました。

しかし、人口減少社会へと変遷するなかで、この土地利用規制によって若者やUターン者の住まいが確保

できない、企業誘致を阻害しているなど、市街地周辺地域の衰退を招く要因になっているとのご意見も聞かせてきます。

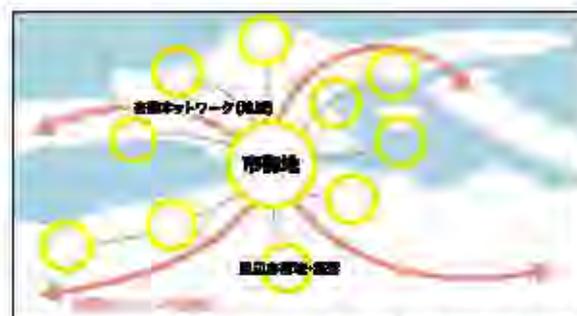
また、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大は、人々の意識の変化、働き方の多様化、デジタル化の促進など、私たちの暮らしに大きな影響を及ぼし、企業においてもリスク回避の観点から地方への拠点分散の動きが見られます。

このように、時代が大きく変化するに当たり、改めて「まちのかたち」と「土地利用制度」を議論する時期を迎えています。

## 「まちのかたち」の考え方 ～市域内のバランスのとれた発展～

「まちのかたち」は、本市の将来像をつくるための土台となるものです。

将来にわたって生活に必要なサービスを維持し、市全体を持続可能なまちとするためには、「一極集中によるコンパクトシティ」ではなく、「市域内のバランスのとれた発展」が求められます。そのために、市街地や集落などの既存コミュニティを交通などでむすぶ「コンパクト・プラス・ネットワーク」(\*)の形成をめざします。



コンパクト・プラス・ネットワークのイメージ

※コンパクト・プラス・ネットワーク…国庫・福祉施設、商業施設などの生活サービス機能や使用が一定制度をもって立地し、住民が公共交通等によりこれらの生活サービス機能にアクセスできるまちづくりの考え方。

## 中心市街地の再生

市域全体のバランスの取れた発展のためには、核となる中心市街地の役割が重要になります。

松江駅から松江城に至るエリア（いわゆるL字ライン）について、「中心市街地エリアビジョン」を策定して中心市街地の魅力向上を推進してまいります。



## 今後の土地利用制度の考え方

「まちのかたち」をつくる手段となるのが土地利用制度です。  
これまでの制度を検証し議論を重ねたうえで、2022(令和4)年度末を目途に、土地利用制度の考え方を決定します。

## 未利用公有地の活用

市街地における未利用公有地については、エリアビジョンとの整合を図りながら、魅力向上につながる活用を検討してまいります。



# MATSUE DREAMS 2030

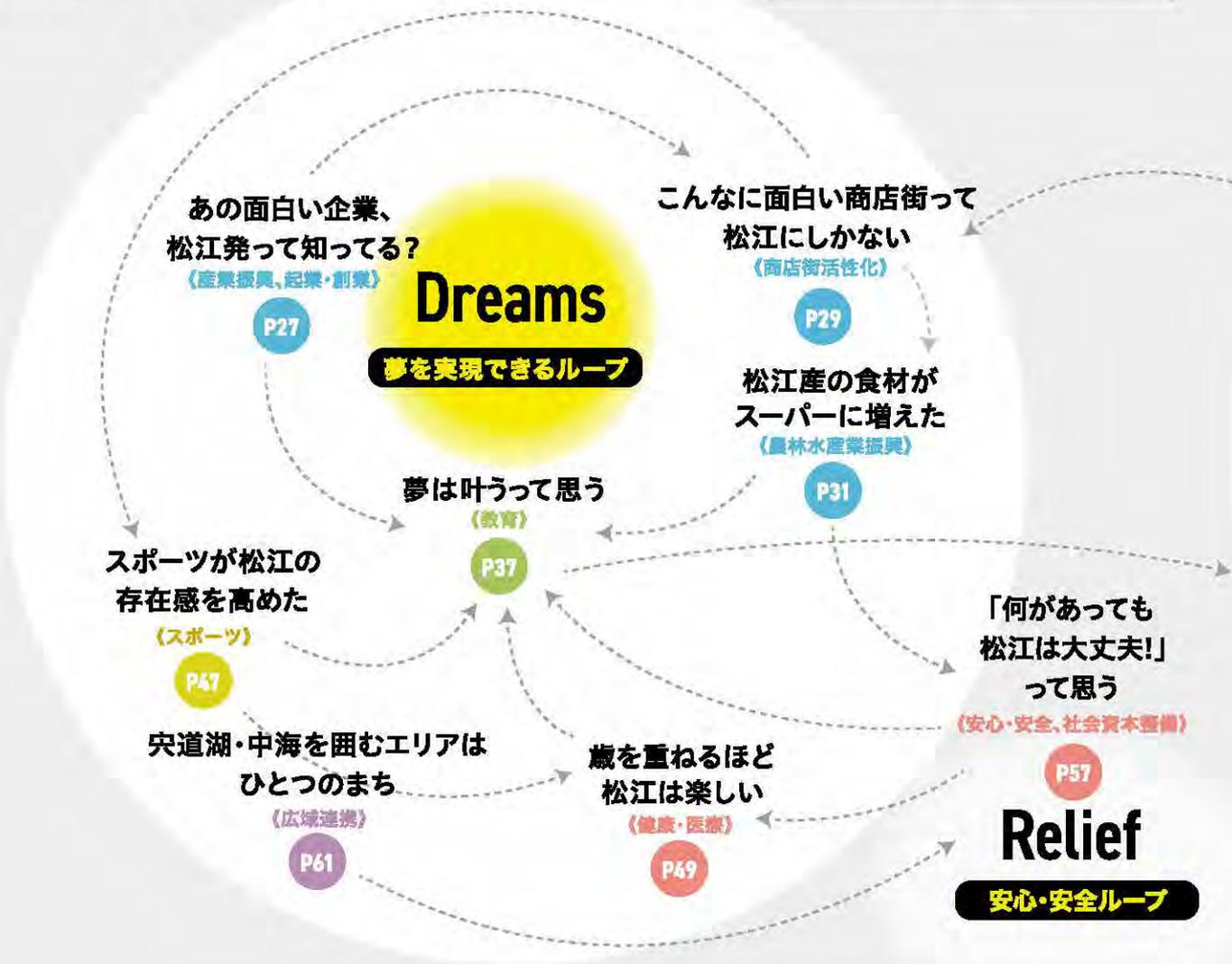
---

基本施策

# 2030年の市民の実感

松江のあるべき姿=将来像を、5つの柱と18の分野に分けて構成します。  
市民が2030年に実感できる「18の松江」は、相互につながり合っています。

**将来像** (松江のあるべき姿)  
**夢を実現できるまち  
誇れるまち 松江**



**基本理念**  
**松江のジダイをつくる**



松江市はSDGsの実現に取り組みます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1	産業振興、起業・創業
2	商店街活性化
3	農林水産業振興
4	観光振興
5	ワーク・ライフ・バランス、子育て支援
6	教育
7	共生社会・地域コミュニティ
8	人材育成・選流
9	関係人口、副業・兼業人材
10	歴史・伝統・文化・芸術
11	スポーツ
12	健康・医療
13	自然・環境
14	都市デザイン(水辺・公共交通)
15	都市デザイン(まちなみ・公園)
16	安心・安全、社会資本整備
17	行政改革、スマート自治体
18	広域連携

すべての行政分野で推進すること(※次ページ)

I ことごとく

II なかま

III なかま

IV どたら

V なかま

# すべての行政分野で推進すること

## 人口減少対策の推進

将来にわたって持続可能なまちを形づくるためには、人口減少対策が重要です。

松江市の人口は2005(平成17)年の国勢調査以降、若者世代を中心に減少が続いています。このため、人口減少対策を取りまとめた総合戦略(2020(令和2)年2月策定)では、若者に重点を置いた施策に取り組む方針を示しました。

こうした方針を踏まえて、産業・雇用の創出、子育て環境の充実、定住の促進に加え、多様性の尊重、安心・安全なまちづくりなど、総合的・複合的に人口減少対策を進めていきます。

また、デジタル化の進展など新たな時代の流れを力にして、人口減少対策を強化するとともに、産・官・学・金・言・労・士など多様な主体と協力・連携して取組を進めます。



## 文化力を生かしたまちづくり

「国際文化観光都市・松江」には、神話の時代からの歴史の積み重ねがあり、先人が残してくれた、世界に誇るべき豊かな伝統文化芸術があります。

しかし、時代の移り変わりとともに、伝統行事や生活文化を守り伝えていくことが難しくなっています。

市民の暮らしの根底にあり、市民の誇りとなる松江の文化力やそれを支える「7つの柱」を再認識し、世代を超えてだれもが心豊かになれるまちを実現するため、2021(令和3)年に「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」を制定しました。

同条例に定める「6つの視点」を取り入れながら、伝統文化芸術の振興を図り、松江の文化力を生かしたまちづくりを推進します。

### 7つの柱



## デジタル技術の活用(DX)

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により新しい生活様式への転換を余儀なくされ、暮らし・仕事・人との関わり方など社会の在り方が大きく変わりました。

また、デジタル技術の高度化や人工知能(AI)の普及が進む中、これらを前提とする社会の到来が目前に迫っています。あらゆる分野で新しい生活様式への対応とデジタル化の動きが加速しており、新しいサービスやビジネスの創出機会として活かせるものと確信しています。

行政サービス、産業、教育、医療・福祉、スポーツ、社会資本整備などの分野でDXを推進し、既存産業の革新、新しい産業創出、暮らしの利便性向上を実現します。

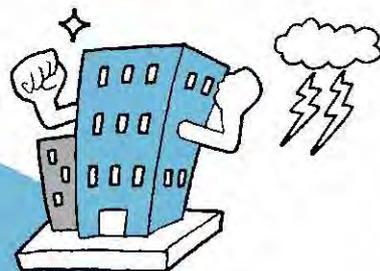


Ruby Cityブランドが浸透して  
IT産業の集積が進み、  
新たなビジネスが  
生まれている。

Ruby City MATSUE  
プロジェクト2.0



災害や経済危機に左右されない  
変化に強い企業になる！

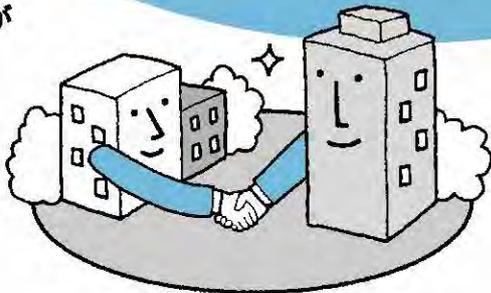


企業誘致+地元  
企業との協働  
により雇用が  
増えている。

2030年、市民の実感

## あの面白い企業、 松江発って知ってる？

市外企業との  
コラボレーションによる  
新たな商品・サービスが  
リリースされている。



中海・央道湖・大山圏域の各市に所在する  
企業間の連携が進み、新しい商品が生まれた。



松江の工芸の魅力が全国へ広まる。  
工芸の魅力を活用した  
ユニークな商品や若い担い手が増えた。

## 目標

創業数(新設法人数)

年間**145**社



## 松江のチャレンジ

- 起業や新しいビジネスに挑戦する人を、地域全体で支援する「MATSUE起業エコシステム」を形成します。
- 「Ruby(※)」を軸に世界で通用する企業が集積し、革新的な技術・商品・ライフスタイルを生み出します。

※Ruby…松江市在住のまつもとゆきひろ氏によって開発されたプログラミング言語。

## 私のチャレンジ



I  
しごとづくり

1  
産業振興、起業・創業

空き家・空き店舗のリノベーションにより、  
まちなかの行きたい場所やお店が増えて、  
毎週末にぎわっている。



商店街の中で、  
斬新な取組やアイデアを持ち寄り、  
全国に向けて発信している。



2030年、市民の実感

# こんなに面白い商店街って 松江にしかない



まちづくり会社により、  
まちなかに眠る土地や家屋や  
公共空間の利活用が進んでいる。



伝統工芸やものづくりを  
体験できる「時間消費型」のお店が  
軒を連ねている。

## 目標

中心市街地商店街の  
店舗利用率

93.6%



## 松江のチャレンジ

- 松江ならではの手仕事、ものづくりに触れることができる、「本物」がある「職人商店街」をつくります。
- 「非日常」体験、飲食、買い物が楽しめる、昼も夜も歩きたくなるまちをつくります。
- 市街地の再開発を担うまちづくり会社を応援します。

## 私のチャレンジ



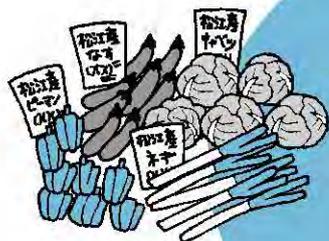
1  
しごとづくり

2  
商店街活性化

地元産品のブランド化や高付加価値化、  
IT化により、農業の収益性がアップ！  
若者やUターン者の就農や  
企業の農業参入が増えている。



学校や病院の  
給食だけでなく、  
スーパーや各家庭で  
地産地消が進む。



2030年、市民の実感

# 松江産の食材が スーパーに増えた



松江の木を使った、温かみのある  
公共建築物が増えた。



宍道湖畔でシジミ汁が楽しめる。  
郷土料理や松江の食材を手軽に  
楽しめるお店が増えた。



アワビの陸上養殖が実用化され、  
栽培漁業が活性化！  
市内での水揚げが復活し、  
漁港施設の整備と活用が進む。

## 目標

**第一次産業の産出額**  
**年間102億円**



## 松江のチャレンジ

- 地域商社の設立によって松江産品の認知度を高め、ブランド化を図ります。
- 6次産業化(※)、農水商工連携(※)に取り組み、商品開発や販路開拓を推進します。

※6次産業化…1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業の一体的な推進を図り、新たな付加価値を生み出す取組。

※農水商工連携…農林漁業者と商工業者などが通常の商取引関係を超えて協力し、お互いの強みを生かして、新商品・新サービスの開発、販路開拓などを行う取組。

## 私のチャレンジ



「文化芸術のまち」としての知名度アップ!  
市内のあちこちで、演劇・文芸・映像など  
アートに触れることができる。

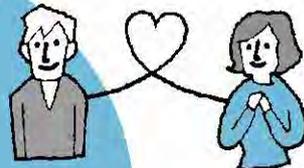
佐陀神能、ホーランエンヤ、  
騷行列などの伝統行事が  
次世代に継承されている。

「縁結び(ご縁)」「美肌」「怪談」  
「小泉八雲」「水の都」  
たとえば松江。



2030年、市民の実感

## 世界中から 松江に人が集まる



VR・ARのほかデジタル技術の活用により、  
国宝松江城を中心とする城下町文化に  
ついて国内外の認知度が高まる。

「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」への  
関心が高まり、全国から観光や修学旅行の  
目的地として選ばれている。



出雲縁結び空港へ国際定期便が就航!  
路線数も便数も増えて、  
使いやすくなった。

大規模なビジネスイベントや  
国際会議が多数開催されている。

## 目標

観光消費額  
年間**750億円**



## 松江のチャレンジ

- 松江をたくさん訪れている国、近隣空港に直行便がある国・地域(※)に、重点的に松江の魅力を発信します。

※台湾、香港、中国、韓国、フランス、タイ、シンガポール、アメリカ、インドが念頭。

- 山陽・関西と松江をつなぐ広域周遊ルートをつくります。

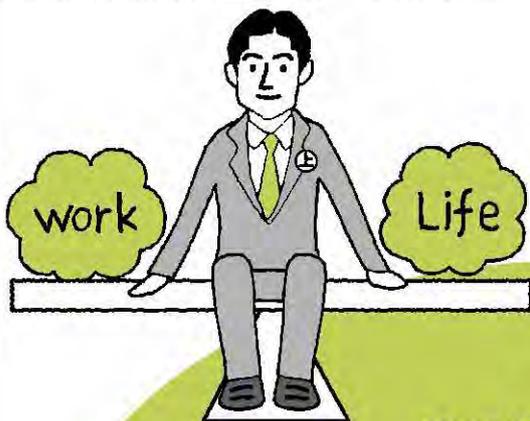
- 松江の豊かな自然や食を生かし、自然に親しむアクティビティ(※)や癒し・健康をテーマとする観光プログラムをリリースします。

※アクティビティ…活気。活動。特に、リゾート地などでのさまざまな遊びのこと。

## 私のチャレンジ



希望するワーク・ライフ・バランスに応じた働き方が定着。男性の育児参加が当たり前になった。



子育て支援サービスが充実。育児ニーズに対応した様々なメニューが用意されている。



2030年、市民の実感

# ここに生まれてよかった ここで育ててよかった

妊娠・出産・子育て  
に対する切れ目のない  
支援が充実。



医療的ケア児や障がいのある子どもに  
対する先進的な支援が全国で注目。



市民活動団体や  
地域の人や企業が  
子どもたちを応援し、  
「みんなで育てる」取組が  
活発に！

児童クラブに  
待機児童がない。

## 目標

合計特殊  
出生率

2.22

子育て支援策に満足  
している市民の割合

60%



## 松江のチャレンジ

- 海、山、湖などの松江の自然を生かして、家族で楽しめる場所をつくれます。
- 雨の日でも子どもと遊べる空間を整備します。
- 親子向けのスポーツイベントや商店街での縁日など、家族で楽しめる「子育ての日」(年1回)を制定します。

## 私のチャレンジ



---

---

---

---

---

---

---

---



市内で学びたい、働きたい人を応援する  
奨学金制度が充実。

ICT機器やリモート授業を  
活用し、児童一人ひとりに  
合わせた教育を進め、確かな  
学力が育まれている。

不登校やいじめの問題に積極的に  
取り組み、魅力ある学校になった。

障がいのある児童・生徒の  
個性を尊重する  
学びの環境が整っている。



2030年、市民の実感

## 夢は叶うって思う



市立図書館、学校、  
家庭で子どもが  
本に親しんでいる。

不安や悩みを抱える  
子ども・若者の  
居場所づくりや  
自立に向けた支援が  
充実。



皆美が丘女子高では  
大学とのカリキュラム  
連携により実社会への  
対応力を修得。



おやがく  
「親楽プログラム(※)」が活性化！親同士の  
つながりができて、子育てに前向きになれた。

おやがく  
※親楽プログラム…保護者などを対象に親としての役割や  
子どもとのかかわり方について学ぶプログラム。

NPOでは、子どもたちに  
多様な場と機会を  
つくっている。

ふるさと教育が充実。  
子どもたちが松江の未来や  
自分の将来を考えたり、  
話し合ったりしている。

## 目標

将来の夢や希望を持っている  
児童・生徒の割合

小学生 **87.0%** | 中学生 **72.0%**



## 松江のチャレンジ

- ICT機器(※)の活用を通じ、一人ひとりの個性と能力を伸ばす教育を推進します。

※ICT機器…情報通信技術の機器。PC、電子黒板、携帯電話など。

- 英語によるコミュニケーション力を育て、海外の文化や言語に触れる機会を増やします。

- 県教育委員会や大学などと連携して、読み書きに困難を抱える児童・生徒の指導・支援を拡充します。

- 伝統文化芸術など、松江の魅力ある地域資源を活用した学習プログラムを構築します。

## 私のチャレンジ



生活上の悩みを相談できる  
身近な窓口があり、関係機関が  
連携して解決してくれる。



災害時に避難支援が必要な方を  
地域で支える仕組みが明確に  
なっている。



2030年、市民の実感

## 松江市民のモットーは 「寛容」

国籍・年齢・性別や、性自認、  
障がいの有無などにかかわらず、  
多様性が尊重され、自分らしく過ごせる。



地域やNPOが青少年の  
健全育成に取り組み、  
青少年の自立と社会参加が  
促進されている。

各地域で  
「地域版まちづくり総合戦略」に基づき、  
まちづくりのユニークなアイデアが実践され、  
それを市域全体で共有している。

## 目標

市民活動・地域活動  
への市民の参画割合

65%



## 松江のチャレンジ

- 高齢の方、障がいのある方が活躍できる場づくり・機会づくりを進めます。
- 多文化共生社会(※)を実現し、だれもが社会参加できる環境をつくりマインドを育てます。  
※多文化共生社会…国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等に関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。
- 公民館を中心に、世代間で交流できる機会をつくります。
- 市民、NPO、企業、行政がそれぞれの強みを生かし、連携しながらまちづくりを進めます。

## 私のチャレンジ



松江のPRが奏功し  
都市にある企業の本社機能や  
サテライトオフィスの立地が  
相次いでいる。

住んでる人の  
生活の満足度が  
高い。

「はたちの集い」が盛り上がる！  
松江を離れた若者と行政や  
地元企業のつながりが  
強くなっている。

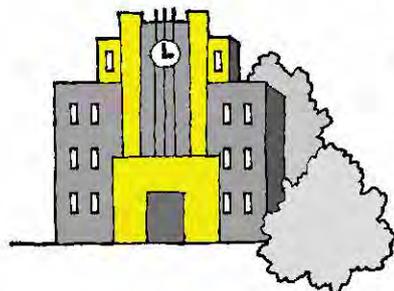
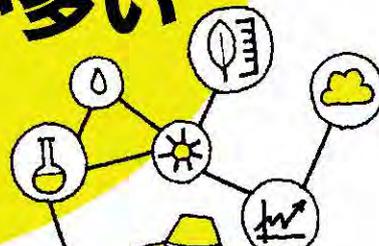


2030年、市民の実感

# 最近、松江に 引っ越してくる人が多い



移住相談や  
移住イベントが活発化！  
移住希望者の個性に  
あったサポートが充実。



松江出身の大学生が  
地元企業を知り  
インターンシップを受け  
就活エントリーするステップが  
確立している。

松江の農林水産業の魅力が高まり、  
若者が続々と就農・就漁している。

## 目標

UIターン者数  
年間1,230人



## 松江のチャレンジ

- 松江出身の大学生を中心に、地域や地元企業との結びつきを強める場をつくります。
- 都会地における「松江」の認知度が向上し、魅力あるまちとしてブランド力を定着させます。

## 私のチャレンジ



---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

ふるさと納税のポータルサイトが魅力的。  
返礼品も充実し、  
ふるさと納税といえば  
松江の名前が挙がる。



松江がテレワークの聖地として認知されている。  
市外企業に勤めながら、松江で働く人が増え、  
そのための環境が整備された。



SNSを通じて  
世界中の  
フォロワーに  
松江の情報を  
タイムリーに  
発信している。

2030年、市民の実感

## 松江推しは世界中にいる



都市部の人と地域をつなぐ  
交流セミナーや  
現地体験ツアーが活発化。  
地域の受け入れ体制が整い、  
松江に関わる人(関係人口)が  
増えた。

## 目標

Uターン者数  
年間1,230人



## 松江のチャレンジ

- 松江にゆかりのある企業家へのトップセールス(※)や、松江出身者との交流の強化により、ふるさと納税をはじめとする関係人口を増やします。

※トップセールス…地方自治体の代表などが、国や地方の産物・産業を売り込むこと。

- 産学官金の連携によって、副業・兼業などの人材活用ができる体制をつくれます。
- ワーケーション(※)の魅力・利便性・拠点性を高め、都市部の企業にアピールします。

※ワーケーション…Work(仕事)とVacation(休暇)を組み合わせた造語。テレワーク等を活用し、リゾート地や滞在地など、普段の職場と異なる場所で余暇を楽しみつつ仕事を行うこと。

## 私のチャレンジ



---

---

---

総合文化センターなど  
市民の芸術文化活動の  
拠点施設がにぎわう。



地域に根づく伝統文化や  
行事の魅力・価値が認識され、  
担い手に引き継がれている。  
インバウンド観光の目的地としても  
話題になっている。

国内外の  
姉妹都市との  
文化・スポーツ交流が  
盛んに  
行われている。



2030年、市民の実感

小泉八雲を知り、  
学ぶ機会が  
増えた。



## まちそのものがアート



埋蔵文化財の  
調査研究が  
進んでいる。

指定文化財等が  
適切に保存されて  
いる。ICT技術により  
文化財の特徴や価値を  
わかりやすく  
発信している。

市民、NPO、地域、行政が協力し、  
豊かな自然景観や歴史文化を生かした  
まちづくりへの理解と共感が広がり、  
活動に参加する人が増えた。

## 目標

松江の伝統文化芸術を誇りに思い、  
心豊かになれるまちだと考える  
市民の割合

77%



## 松江のチャレンジ

- 松江で活動するアーティストが作品を発表できる場、市民の創作活動を応援する環境をつくります。
- 国宝松江城の世界文化遺産登録に向けた取組をきっかけに、松江の魅力を世界にアピールします。
- 中海・宍道湖・大山圏域の地域資源を歴史や共通するテーマでつなぎ、住民の交流やマイクロツーリズム(※)を推進します。

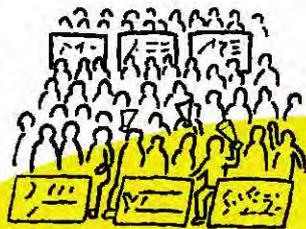
※マイクロツーリズム…住民が地元や近隣地域で行う宿泊観光や日帰り観光。

## 私のチャレンジ





島根スサノオマジックとの  
交流イベントが活発化。  
市民みんなが  
応援団になっている。



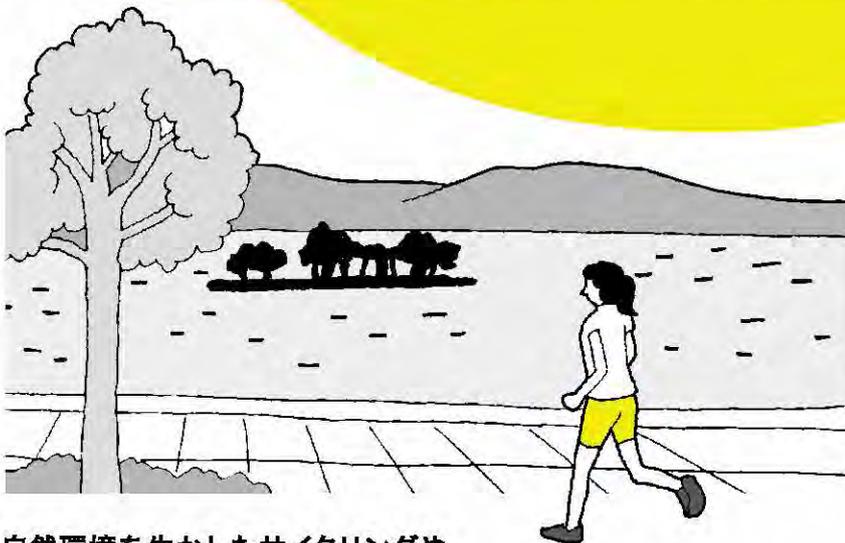
子どもから高齢者まで  
全世代がスポーツを楽しんでいる。



2030年、市民の実感

## スポーツが松江の 存在感を高めた

地域ごとに  
スポーツの  
コミュニティが  
組織されている。



自然環境を生かしたサイクリングや  
ジョギングのコースや施設が整備されて気軽に楽しめる。



スポーツ大会や  
合宿の適地として定評を得て、  
スポーツを目的に  
松江に来る人が増えた。

## 目標

週1回以上スポーツに  
取り組んでいる市民の割合

70%



## 松江のチャレンジ

- 全国・世界の舞台へ挑戦するジュニア選手を応援します。
- サッカーやグラウンドゴルフからサイクリングや水上スポーツまで、世代を問わずスポーツを楽しめる環境を整備します。
- プロスポーツ選手が市内学校で競技指導に当たるなど、スポーツが身近にあるまちをつくります。

## 私のチャレンジ



---

---

---

---

---

---

---

---

健康診査・がん検診・歯科健診の  
メニューが充実して受診しやすくなった。  
健診結果を活用した健康づくりが  
サポートされている。



イベント会場や  
公共施設など、  
身近な場所で  
体力測定や  
健康相談ができる。

2030年、市民の実感

# 歳を重ねるほど 松江は楽しい

健康イベントが盛りあがる！  
ウォーキングする人が増えた。



人と人とのつながりの中、  
だれもが住み慣れた地域で  
安心して暮らしている。

## 目標

### 健康寿命 (65歳以上平均自立期間)

女性 21.60年 | 男性 18.40年



## 松江のチャレンジ

- オフィスで働きながら健康を増進するしくみをつくります。
- 水辺を生かした歩きたくなる空間づくり、地産品を使った食生活の提案など、松江ならではの健康づくりを進めます。
- 松江にある「癒し」の素材を、予防医療や健康指導と組み合わせ、市民の健康寿命の延伸を図ります。

## 私のチャレンジ



---

---

---

---

---

---

---

---

再生可能エネルギーが普及し、  
省エネルギーや  
公共交通の利用と併せて、  
環境に優しいライフスタイルが  
定着している。



4R運動が定着。ごみの少ない  
きれいなまちになっている。

リユース  
リデュース  
4R = リフューズ  
リサイクル



2030年、市民の実感

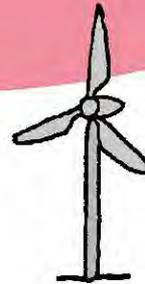
# 日本が誇る 「環境主都まつえ」



市役所の公用車が  
電気自動車に。



環境問題に関する  
イベントや活動が活発化。  
環境問題に取り組む  
市民、企業、市民活動団体、  
NPOが増えた。



松江ならではの歴史・文化と調和した  
自然環境や景観が大切に守られている。



## 目標

### 二酸化炭素排出量

916千t-CO<sub>2</sub>



### 松江のチャレンジ

- 2050年のカーボンニュートラル(脱炭素社会)(※)に向けて、太陽光・風力・地熱・小水力・木質バイオマスなどの再生可能エネルギーの普及を促進します。

※カーボンニュートラル…二酸化炭素の排出量と吸収量が差引ゼロの状態になることを目指す概念。

- 日本海・宍道湖・中海の海藻や水草によって吸収されるCO<sub>2</sub>(ブルーカーボン)を活用して、カーボンオフセット(※)制度を構築します。

※カーボンオフセット…日常生活や経済活動において排出される温室効果ガスについて、どうしても削減できない排出量の全部または一部を、植林・森林保護・クリーンエネルギー事業などで、埋め合わせすること。

- 再生可能エネルギーを活用して、スマートシティのモデルケースになることをめざします。

### 私のチャレンジ



---

---

---

宍道湖畔にレストランや  
キッチンカーが並び、  
イベントや  
水上アクティビティが  
楽しめるにぎやかな  
水辺になっている。



2030年、市民の実感

# 世界の水都MATSUEが 水辺と公共交通の 概念を変えた



路線バス、コミュニティバス、  
AIデマンドバスなどの  
きめ細かい役割分担によって  
公共交通が使いやすくなった。



大橋川沿いが  
憩い・集い・くつろげる  
水辺空間になり、  
たくさんの親子連れが  
訪れている。



## 目標

中心市街地の水辺が利用し  
やすいと感じる市民の割合

70%



## 松江のチャレンジ

- 水上交通など、「水の都・松江」を実感できる多様なアクティビティ(※)をつくります。

※アクティビティ…活気。活動。特に、リゾート地などでのさまざまな遊びのこと。

- 宍道湖畔に、子どもも大人も安心して遊ぶことができる親水空間を整備します。

- 既存の公共交通を補完するAIデマンドバス(※)を導入し、だれもが利用しやすい交通ネットワークを整備します。

※AIデマンドバス…従来の定時定路線型のバスではなく、利用者の予約に対しAI(人工知能)により最適な運行ルート、配車をリアルタイムで行うバスシステム。

## 私のチャレンジ





JR松江駅から  
国宝松江城までの道のりの  
歩き心地サイコー！

主要施設がライトアップされて  
夜のまちも歩いて楽しみ活気がある。



2030年、市民の実感

# 松江には歩きたくなる まちなみがある



週末に公園や道路を活用して、楽しいイベントが開催されている。



中心市街地に  
お店の連続性が確保されて  
人の流れが形づくられている。



## 目 標

住みやすさを実感する  
市民の割合

90%



## 松江のチャレンジ

- JR松江駅前に人々が集う「松江の顔」となる広場を整備します。
- 大手前駐車場を広場などに活用して、松江城周辺とまちなかを回遊する人の流れをつくります。
- グリーン・スロー・モビリティ(※)など多様な交通手段を導入し、安心して歩くことができる歩行者優先の道路を増やします。  
※グリーン・スロー・モビリティ…時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した移動サービス。
- 企業、NPOなどが公園で行うユニークな取組を応援します。

## 私のチャレンジ




---



---



---



---

防災訓練や防災出前講座を通じて、  
万一の災害への備えが進んでいる。

日本一交通事故が  
少ないまち。

松江の道路は、  
お年寄りも障がい  
のある方も、自転車も  
安心して利用できる。

若い世代が消防団に  
加入し、地域で  
頼りになる存在  
になっている。

2030年、市民の実感

# 「何があっても 松江は大丈夫！」 って思う

山陰自動車道、  
松江北道路の  
整備が進んでいる。

大橋川の改修  
工事が進み、  
流域の暮らしの  
安心感が高まっている。



老朽化した公共施設が適切に  
メンテナンス・更新されている。

道路や公園の  
清掃活動に参加する  
ボランティアが増えた。



市内のどこでもインターネットにつながる。  
主要スポットで無料Wi-Fiが利用できる。

## 目標

災害時の安心感を持つ  
市民の割合

60%



## 松江のチャレンジ

- 新庁舎に各種防災機能(※)を連携し統括管理する総合防災センターを設置します。

※各種防災機能…災害時の情報発信や備蓄、避難所の運営、支援物資や災害ボランティアの受入、防災教育等。

- 町内会・自治会や公民館を起点に、地域のまとまり・団結力を育み「防災力」を強化します。
- 消防署に指揮隊を設置し、現場対応力の強化を図ります。消防団との連携を深め、市域全体の消防力を高めます。

## 私のチャレンジ



---

---

---

---

---

---

---

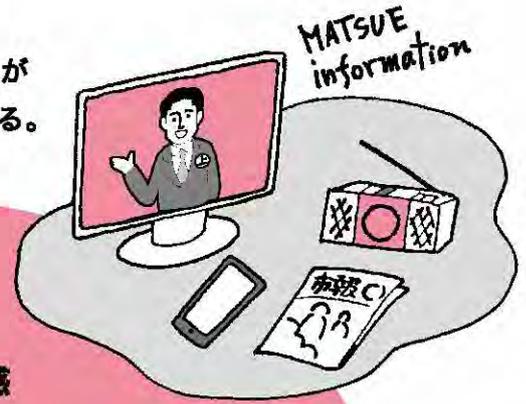
---

自宅にいながら  
インターネットで  
必要な行政サービスを  
受けることができる。



市の公共施設や  
利用できるサービスが  
マップ上で検索できる。

多様なメディアを通じて、  
松江市からの情報がサクサク届く。



市役所に行けば、  
待つことなく  
手続きが進む。

2030年、市民の実感

## 市役所って、 ほんと頼りになる

公文書が  
インターネット上で  
検索・閲覧できる。  
「文書館(※)」が整備され、  
歴史史料として重要な  
公文書が管理されている。

※文書館…歴史的価値のある公文書や  
地域の古文書などを一体的に収集・  
評価・保存・公開する施設。

インターネットにより  
いつでも市役所に意見を発信できる。  
市民のニーズがタイムリーに  
施策に反映される。



民間企業との交流やノウハウの共有などにより、  
市役所の機能や対応がレベルアップした。

## 目標

行政サービスの利便性に  
満足している市民の割合

65%



## 松江のチャレンジ

- 行政手続きや暮らしの相談にあたり、対面とオンラインが「ちょうどよく」選択できる仕組みをつくります。
- 職員による専門スキルの取得、外部人材の登用などによって、市民ニーズの多様化や高度化する行政事務にきめ細かく対応します。
- SNSの活用など、市民参加による市の広報体制を整えます。

## 私のチャレンジ



---

---

---

---

---

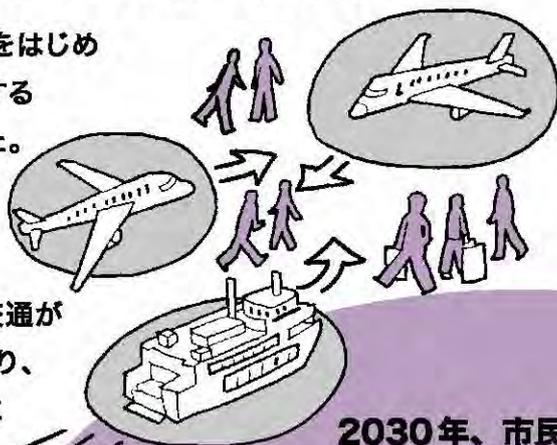
---

---

---

エリア連携によるユニークな魅力の相乗効果で  
インバウンド観光客が増えた。

台湾・インドをはじめ  
世界へ挑戦する  
企業が増えた。



圏域の公共交通が  
使いやすくなり、  
往来が盛んになっ  
ている。

2030年、市民の実感

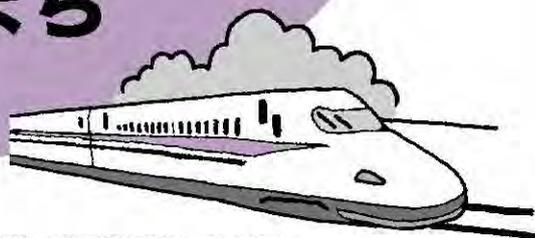
## 央道湖・中海を 囲むエリアは ひとつのまち

エリア内の  
移住・定住者が増えた。  
健康で長生きできるまち  
としてのイメージが浸透。

環境保全に関する  
イベントや取組が  
活発化。  
自然学習を通じて、  
子ども同士の  
交流が進んだ。



台湾・インドとの間で  
企業交流が活性化。  
商取引が増えている。



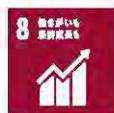
新幹線の整備促進に向けて、  
エリアが一体となって取り組んでいる。

圏域各市の特徴ある地域資源を活用し、  
域内でコラボすることでそれぞれの  
地域産業が発展している。

中海・央道湖を囲む「8の字ルート」の  
早期完成に向けた取組が着実に進んでいる。

## 目標

中海・宍道湖・大山圏域人口  
**60万人** (2060年)



## 松江のチャレンジ

- 5市の共通課題の解決に共同で取り組む仕組みをつくります。圏域住民への周知・意識啓発を行います。
- 脱炭素社会(カーボンニュートラル)(※)の構築や、医療・福祉面の余力の融通などに、圏域全体で取り組みます。  
※カーボンニュートラル…二酸化炭素の排出量と吸収量が差引ゼロの状態になることを目指す概念のこと。
- 中海・宍道湖・大山圏域(※)の地域資源を5市住民が相互に楽しむマイクロツーリズム(※)を推進します。  
※中海・宍道湖・大山圏域…米子市・境港市・松江市・出雲市・安来市の5市と鳥取県西部7町村のエリア。  
※マイクロツーリズム…住民が地元や近隣地域で行う宿泊観光や日帰り観光。

## 私のチャレンジ



---

---

---

---

---

# YOUR DREAM 2030



# 2030年の「私」の姿

2030年あなたは何歳でしょうか？

どこでどんな暮らしをしていますか？

ありたい未来の実現に向けて、自分なりの将来像と  
その実現に向けたチャレンジを描いてみませんか。

2030年

歳

---

私のなりたい姿

---

その実現に向けたチャレンジ

---

